

2023年11月期 第3四半期決算短信[日本基準](非連結)

2023年10月11日

上場会社名 株式会社 ホテル、ニューグランド

上場取引所

東

コード番号 9720 URL https://www.hotel-newgrand.co.jp

(役職名) 代表取締役会長兼社長

2023年10月12日

(氏名)原 信造

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務本部長

四半期報告書提出予定日

(氏名) 岸 晴記

TEL 045-681-1841

配当支払開始予定日

代表者

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 四半期決算説明会開催の有無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年11月期第3四半期の業績(2022年12月1日~2023年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年11月期第3四半期	3,849	27.9	130		112		110	
2022年11月期第3四半期	3,009	37.2	300		236		242	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
	円銭	円:	銭
2023年11月期第3四半期	93.17		
2022年11月期第3四半期	204.92		

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2023年11月期第3四半期	7,558	2,967	39.3	2,513.09
2022年11月期	7,737	2,852	36.9	2,415.31

(参考)自己資本

2023年11月期第3四半期 2,967百万円 2022年11月期 2,852百万円

2. 配当の状況

		年間配当金								
	第1四半期末	第2四半期末	期末	合計						
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭					
2022年11月期		0.00		0.00	0.00					
2023年11月期		0.00								
2023年11月期(予想)				0.00	0.00					

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年11月期の業績予想(2022年12月1日~2023年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業和	利益経常利益当期		当期純	利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	5,200	21.4	200		170		167		141.40

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無 以外の会計方針の変更 : 無 会計上の見積りの変更 : 無 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む) 2023年11月期3Q 1,181,448 株 2022年11月期 1,181,448 株 期末自己株式数 2023年11月期3Q 454 株 2022年11月期 373 株 期中平均株式数(四半期累計) 2023年11月期3Q 1,181,063 株 2022年11月期3Q 1,181,108 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大き〈異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料) 2ページ 「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四]半期決算に関する定性的情報
(1) 経	全営成績に関する説明 ······ 2
(2) 財	1 政状態に関する説明
(3)業	に行うされるがある。 を行うされるがある。 と行うされるがある。 と行うながら、 を行うながらないできる。 と行うながらないできる。 と行うながらないできる。 と行うながらないできる。 と行うながらないできる。 と行うながられる。 と行うながらないできる。 と行うながらないできる。 と行うながられる。 と行うながられる。 と行うながられる。 と行うながられる。 というながられる。 というながられる。 というながられる。 というながられる。 というながられる。 というながられる。 というながは、 というながられる。 というながらいいのではないがらいいのではないではないではないではないできながらいいではないではないではないではないではないではないではないではないではないでは
2. 四半	- 期財務諸表及び主な注記 ······ 3
(1) 四	3半期貸借対照表
(2) 四	3半期損益計算書
(3) 四	3半期財務諸表に関する注記事項
(継	±続企業の前提に関する注記)6
(株	ま主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
(追	追加情報) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
(四]半期損益計算書関係)6
(セ	· グメント情報等) 7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(2022年12月1日~2023年8月31日)におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行により景気回復が期待されましたが、ウクライナ情勢の長期化、エネルギー価格及び原材料価格の高止まり、物価上昇及び円安の進行により景気の先行きは依然として不透明な状況が続いています。

このような状況のもと、当第3四半期累計期間の売上高は、3,849,142千円(前年同四半期比27.9%増)となりました。

販売費及び一般管理費は、2,791,666千円(前年同四半期比10.6%増)となりました。営業利益は130,744千円 (前年同四半期は300,098千円の営業損失)、経常利益は112,185千円(前年同四半期は236,713千円の経常損失)となりました。

また、当第3四半期累計期間の四半期純利益は110,039千円(前年同四半期は242,032千円の四半期純損失)となりました。

なお、当社が営むホテル業は、第4四半期に宴会(婚礼)需要が強く、売上高が多く計上される傾向があります。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

(ホテル事業)

ホテル事業の当第3四半期累計期間の業績は、売上高3,813,652千円(前年同四半期比28.2%増)、営業利益104,062千円(前年同四半期は326,697千円の営業損失)となりました。

なお、主な部門別の売上高は、宿泊部門1,210,247千円(前年同四半期比48.5%増)、レストラン部門1,003,022 千円(前年同四半期比13.7%増)、宴会部門1,302,856千円(前年同四半期比26.5%増)となりました。

(不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業の当第3四半期累計期間の業績は、売上高35,490千円(前年同四半期比0.4%増)、営業利益26,682千円(前年同四半期比0.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産合計は7,558,040千円(前事業年度末比179,847千円減)となりました。

主な要因は現金及び預金38,628千円の減少や、売掛金18,377千円の増加、有形固定資産141,591千円の減少、投資その他の資産19,844千円の減少などであります。

(負債)

負債合計は4,590,092千円(前事業年度末比295,135千円減)となりました。

主な要因はその他に含まれる未払金209,503千円の減少などであります。

(純資産)

純資産合計は2,967,948千円(前事業年度末比115,288千円増)となりました。

主な要因は四半期純利益110,039千円であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績予想につきましては、当第3四半期累計期間において概ね計画通り推移しているため、2023年7月12日に公表しました「2023年11月期 第2四半期決算短信[日本基準](非連結)」から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

		(単位:千円)
	前事業年度 (2022年11月30日)	当第3四半期会計期間 (2023年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2, 203, 609	2, 164, 980
売掛金	345, 011	363, 389
原材料及び貯蔵品	105, 111	117, 326
その他	50, 408	43, 768
貸倒引当金	△30	
流動資産合計	2, 704, 111	2, 689, 464
固定資産		
有形固定資産		
建物	7, 690, 756	7, 690, 756
減価償却累計額	△4, 930, 289	$\triangle 5,009,351$
建物(純額)	2, 760, 466	2, 681, 404
建物附属設備	5, 846, 681	5, 874, 332
減価償却累計額	△4, 924, 022	$\triangle 5,005,708$
建物附属設備(純額)	922, 659	868, 623
土地	750, 415	750, 415
その他	2, 112, 751	2, 160, 282
減価償却累計額	$\triangle 1, 888, 471$	$\triangle 1,944,496$
その他(純額)	224, 279	215, 785
建設仮勘定	42, 744	42, 744
有形固定資産合計	4, 700, 565	4, 558, 973
無形固定資産	60, 738	56, 974
投資その他の資産	00, 100	50, 513
差入敷金保証金	182, 354	182, 347
その他	90, 117	70, 279
投資その他の資産合計	272, 472	252, 627
固定資産合計	5, 033, 775	
資産合計	7, 737, 887	4, 868, 578 7, 558, 040
負債の部	1, 131, 861	7, 556, 040
流動負債		
	217 202	249.069
買掛金	317, 303	248, 963
短期借入金	850, 000	850, 000
1年内返済予定の長期借入金	245, 000	245, 000
未払費用	265, 809	196, 428
未払法人税等	2, 447	1, 835
未払消費税等	39, 123	93, 426
未払事業所税	15, 467	11, 737
引当金	105 100	59, 500
契約負債	195, 103	201, 835
その他	261, 305	49, 871
流動負債合計	2, 191, 560	1, 958, 598
固定負債		
長期借入金	1, 488, 000	1, 404, 000
長期未払金	13, 100	13, 100
再評価に係る繰延税金負債	55, 018	55, 018
退職給付引当金	863, 127	883, 934
長期預り保証金	268, 886	268, 886
その他	5, 534	6, 554
固定負債合計	2, 693, 667	2, 631, 494
負債合計	4, 885, 227	4, 590, 092

		(単位:千円)_
	前事業年度 (2022年11月30日)	当第3四半期会計期間 (2023年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1, 085, 433	1, 085, 433
利益剰余金	2, 003, 538	2, 113, 578
自己株式	△1, 190	△1, 529
株主資本合計	3, 187, 781	3, 297, 482
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7, 135	12, 723
土地再評価差額金	$\triangle 342, 257$	△342, 257
評価・換算差額等合計	△335, 121	△329, 534
純資産合計	2, 852, 659	2, 967, 948
負債純資産合計	7, 737, 887	7, 558, 040

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

		(単位:千円)
	前第3四半期累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年8月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年8月31日)
売上高	3, 009, 490	3, 849, 142
売上原価	785, 785	926, 730
売上総利益	2, 223, 705	2, 922, 411
販売費及び一般管理費	2, 523, 803	2, 791, 666
営業利益又は営業損失(△)	△300, 098	130, 744
営業外収益		
受取利息及び配当金	2, 122	2, 290
受取協力金	% 1 66, 109	_
受取保険金	2, 987	-
利子補給金	2, 789	2, 789
その他	6, 901	32
営業外収益合計	80, 911	5, 112
営業外費用		
支払利息	17, 437	23, 577
その他	88	94
営業外費用合計	17, 526	23, 672
経常利益又は経常損失 (△)	△236, 713	112, 185
特別利益		
投資有価証券売却益	_	4, 768
特別利益合計	_	4, 768
特別損失		
固定資産除却損	3, 483	514
投資有価証券売却損	_	4, 563
特別損失合計	3, 483	5, 077
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△240, 196	111, 875
法人税、住民税及び事業税	1, 835	1,835
法人税等合計	1, 835	1, 835
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△242, 032	110, 039

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の影響により、ホテル事業において、需要低下や営業活動の抑制を余儀なくされておりましたが、5月8日から感染症法上の「5類」へ移行したことに伴い、当社のホテル事業への影響は限定的であると仮定して会計上の見積り(固定資産の減損損失の検討等)の検討を実施しております。

なお、当該見積りは現時点での最善の見積りであるものの、新型コロナウイルス感染症の再拡大や経済状況によっては、上記の見積りの結果に影響し、翌四半期以降の財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(四半期損益計算書関係)

※1 受取協力金

前第3四半期累計期間(自 2021年12月1日 至 2022年8月31日) 新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う神奈川県からの感染拡大防止協力金等であります。

当第3四半期累計期間(自 2022年12月1日 至 2023年8月31日) 該当事項はありません。 (セグメント情報等)

- I 前第3四半期累計期間(自 2021年12月1日 至 2022年8月31日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

		報告セグメント			
	ホテル事業	不動産賃貸事業	計	調整額	四半期損益計算書計上額(注)
売上高					
外部顧客への売上高	2, 974, 152	35, 338	3, 009, 490	_	3, 009, 490
セグメント間の内部売上高 又は振替高	_	_	-	_	_
<u> </u>	2, 974, 152	35, 338	3, 009, 490	-	3, 009, 490
セグメント利益又は損失(△)	△326, 697	26, 599	△300, 098	_	△300, 098

- (注) セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。
- Ⅱ 当第3四半期累計期間(自 2022年12月1日 至 2023年8月31日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

		報告セグメント				
	ホテル事業	不動産賃貸事業	計	調整額	四半期損益計算 書計上額(注)	
売上高						
外部顧客への売上高	3, 813, 652	35, 490	3, 849, 142	-	3, 849, 142	
セグメント間の内部売上高 又は振替高	_	_	_	-	_	
計	3, 813, 652	35, 490	3, 849, 142	-	3, 849, 142	
セグメント利益	104, 062	26, 682	130, 744	_	130, 744	

⁽注) セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。